

生徒数513名

風は未来を 7月号

「前向きに実践できる、みんなが元気な長野中」

「2頭のロバ」の物語

3年生の社会科(公民)の授業を行いました。テーマは基本的人権です。

その中の一つが「2頭のロバ」の話です。

鎖につながれた腹ぺこのロバがいます。2頭は目の前の草を食べようとしますが、うまくいきません。この後のストーリーを考えて、物語を完成させます。大部分の生徒は、2頭が仲良く草を食べる絵を描きました。また、ケンカして勝った方が全部食べるという絵を描いた生徒もいました。

絵を描き終わった後、次のような質問をしました。

1頭のロバが大きくて、もう1頭のロバが小さかったらどうなると思う？

すると、「大きい方が全部食べちゃう！」という答え。次に、

それでは、オスとメスのロバだったらどうなるかな？

すると、「恋人同士だったら仲良く食べる」。「メスのロバにたくさん食べさせる」という生徒もいました。

最後に、

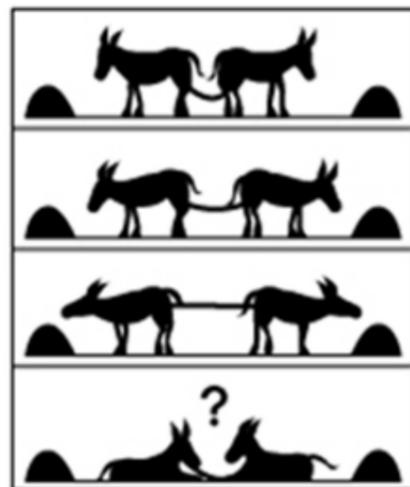
このロバは人間です。先輩と後輩だったらどうなるでしょう？

すると、「(先輩だったら)後輩と一緒に食べる。」という意見の他に、「先輩が全部食べる」。「左の草は先輩が食べて、右の草は一緒に食べる」という意見も少なからずありました。

実は、この質問が一番重要です。最初に生徒が描いた絵は、2頭のロバは「仲良く」草を食べていました。ところが、「ロバは人間で、先輩と後輩」となると、最初の「みんな仲良く」を忘れてしまう生徒が出てきました。これが人権問題の難しさだと思います。「人権尊重」、「みんな仲良く」、「差別は良くない」などは、中学生ともなれば「みんな」理解しているはずですが、口では言うけど、分かっているけど・・・でも、状況が変わったり、立場が変わったり、複数でいる場合などの現実の場面では反対の行動をとってしまう。

では、どうすれば人権問題を克服し、住みよい社会になるのでしょうか？

その解決策の一つは、自己の人権感覚を磨くことだと思います。人間としての感性や想像力を磨いていく。ちょっと立ち止まって考えて、ちょっとした配慮をもって人と接する。ちょっとしたことで、この世の中は住みよいものになると思います。皆で仲良く草を食べることができる社会。そんな社会を実現したいものです。



生徒の絵



7月9日(水)、進修館高校、羽生実業高校、誠和福祉高校、鴻巣女子高校の4校の先生方と生徒の皆さんをお迎えし、体験授業を開催しました。3年生はそれぞれのグループに分かれ、商業・農業・工業・福祉・家政の勉強を行いました。進路を決める一助となりました。



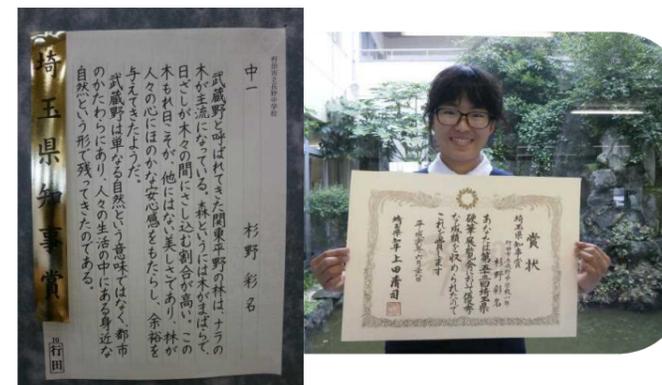
参加した生徒の感想です。

商業の授業は電卓の授業でした。初めて使うボタンもあって難しかったです。商業で学んだことは、将来仕事に役に立つと思いました。高校の先生が一つ一つ丁寧に教えてくださり、よく分かりました。

工業の授業を受けてみて、エンジンはすごくたくさんの部品から組み立てられていると思いました。エンジンをかけるとき、ビックリしました。授業を受けて工業系に進む道も希望に入りました。

硬筆展覧会 県知事賞

1年生杉野彩名さん おめでとうございます。



浮き城祭りに出場します

7月27日(日)行田浮き城祭りで、今年も「長中連」を組み、だんべ踊りを踊ります。ご声援よろしくお祈いします。

